

災害に備え、

『平成26年度 防災エキスパート情報交換会』

を開催しました。

平成26年7月15日に宇都宮国道事務所において『平成26年度 防災エキスパート情報交換会』を開催しました。

「防災エキスパート制度」は、阪神・淡路大震災を契機に、ボランティアの果たす役割の重要性が認識されたことによって翌平成8年に発足しました。この制度に登録された方々（「防災エキスパート」）は、公共土木施設等の整備・管理等に豊富な経験や知識を持っており、災害時はボランティアとして活動を行います。

この「防災エキスパート」は、被災箇所の報告や災害復旧方法の検討などを行います。「防災エキスパート」の支援により、広範囲について、迅速な被災状況の把握や被災箇所の復旧についての支援が期待できます。

宇都宮国道事務所では突発的な災害に備え、毎年、「防災エキスパート」との情報交換会を開催しています。今年度の情報交換会では、当事務所からは現在行っている事業概要の説明や「防災エキスパート」の活動手順・情報伝達方法等の再確認、携帯電話による情報伝達システム等の操作訓練、「防災エキスパート」からはこれまでの防災エキスパートの活動報告等などがなされました。

以下は「平成26年度 防災エキスパート情報交換会」の様子です。

